

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>プロアマ・パープルインベーター</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.500</b>	△RG <b>0.049</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：パープル・インベーター**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：ブルー・インベーター**

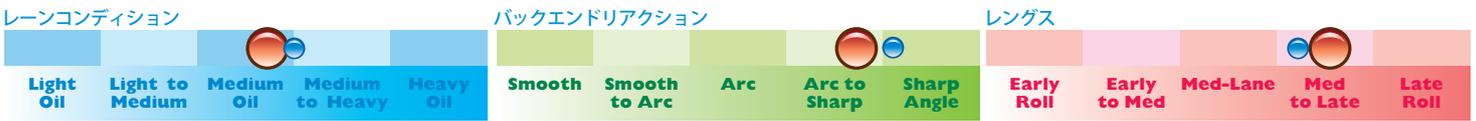
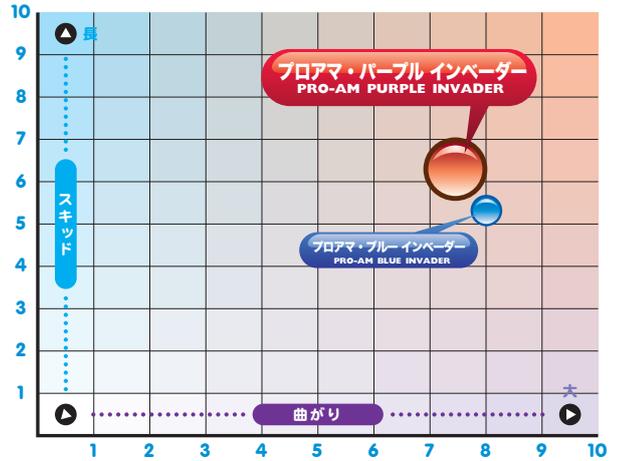
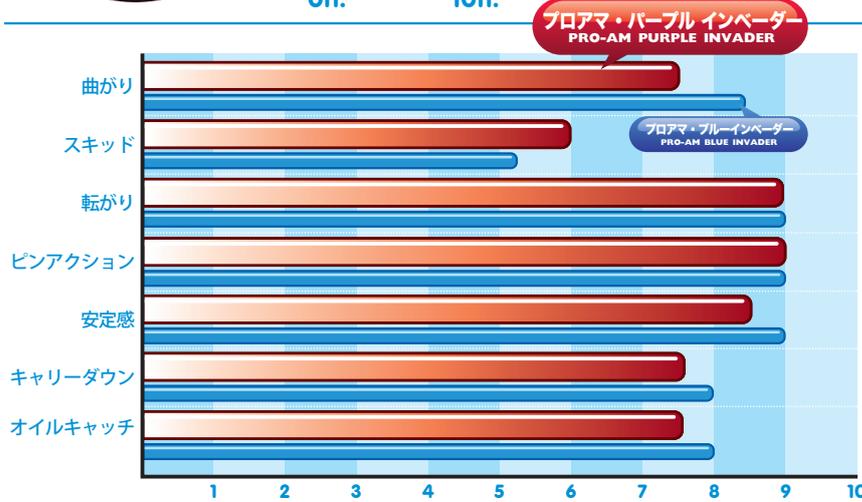
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

記憶に新しい今年のROUND1 CUP2013で原田招雄プロがブラックインベーターで優勝。斉藤琢哉プロがブルーインベーターで準優勝、山本勲プロもブルーインベーターでパーフェクト、HANDA CUP・プロボウリングマスターズでの柴田英徳プロの最年長パーフェクト達成記録更新もまたブルーインベーターでした。

Pro-amインベーターシリーズのこの短期間での活躍や、即日完売記録を塗り替えるニーズは「尋常ではなく」、はやくも不動の地位を確立したと言っても良いでしょう。私達ABSボール開発チームは優勝に貢献できるボールはもちろんのこと、多くのユーザーに愛され、武器となるインベーター作りを目指して参ります。

今回発売するPURPLE INVADERの開発コンセプトは、シリーズのスキッドと最大のバックエンドです。それを可能にするためにカバーのキャッチを殺さずにスキッド力をあげ、ドライゾーンでの摩擦の強いMO5.3Pカバーストックを再抽出しました。インベーターの象徴でもある”インフィニティーコア”と連動することで、シリーズ最大のレイトリアクションの攻撃的スペックが今回仕上がったPURPLE INVADERです。

今までインベーターと比べると、今までより曲がり始めるポイントからやや奥に行ってから一気に曲がるという感じがハッキリと出ており、キレ具合が「切れ過ぎる」ぐらいのイメージで暴れる感じも見受けられます。そして一瞬で曲がるというドライゾーンでのグリップ感は攻撃的かつ爽快で、「納得」の一言に尽きます。

ABS取扱いの中でも「インベーターの代わりはインベーターのみ」と思わせるほど、人気もパフォーマンスも突出しています。今回のPURPLE INVADERもお見逃しなく！

### 特記事項

**シリーズ最大のスキッド力がものを言うレイトリアクション。スキッド力が増してもオイルに対しての強さはインベーター特有な独特なキャッチ感を得られます。**